

Form 5

平成 23 年 6 月 24 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 静岡県立磐田南高等学校 ・ 山村 京子

2. 参加研究者: Dr. David Orozco Suarez

3. 実施日時: 平成 23 年 6 月 22 日 (水) 14 :10 ~ 15 : 10

4. 参加生徒: 2 年生 42 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 42人)
備考: 2年理数科生徒

5. 講演題目: (英文) “The Sun : A natural laboratory”
(和文) 太陽:天然の実験室

6. 講演概要: 太陽の研究は、それから発せられる光によるしかない。地球表面であると、大気に紫外線が吸収されてしまうためデータが十分得られない。そのため宇宙衛星ひのでを用いて、そこから送られてくる情報により研究を進めている。その情報をもとに、太陽表面を局所的に詳しく観察すると、様々に異なる現象が起きていることがわかる。可視光スペクトルも単純な 7 色ではなく、太陽に含まれる様々な元素に由来するスペクトルが無数に見られるのである。私はそのような中で、磁場により生ずると考えられている太陽電磁流を研究している。日本はこの方面で世界最先端の研究が行われており、私もひのでプロジェクトに参加している。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 40 分 質疑応答時間 20 分

(2) 講演方法

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳

受け入れ研究者によるサポート

協力者 職・氏名

国立天文台 准教授 末松 芳法 氏

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

専門用語や中村研のホームページの一部を印刷して1週間前に配布。

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: